

宮崎県の「地域内堆肥資源の活用」について

～粗飼料自給率100%「宮崎アクション」実践事業の取組～

宮崎県農政水産部畜産局

畜産振興課

技師 池田 美玖

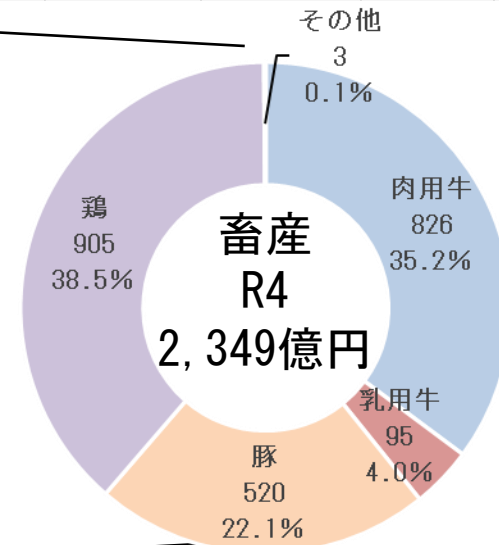
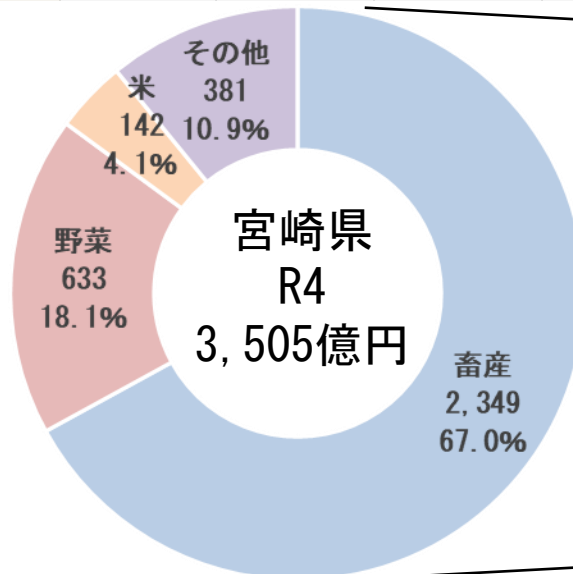
本県畜産の概要（全体）

家畜飼養頭数について

令和6年2月1日現在（単位：頭、千羽）

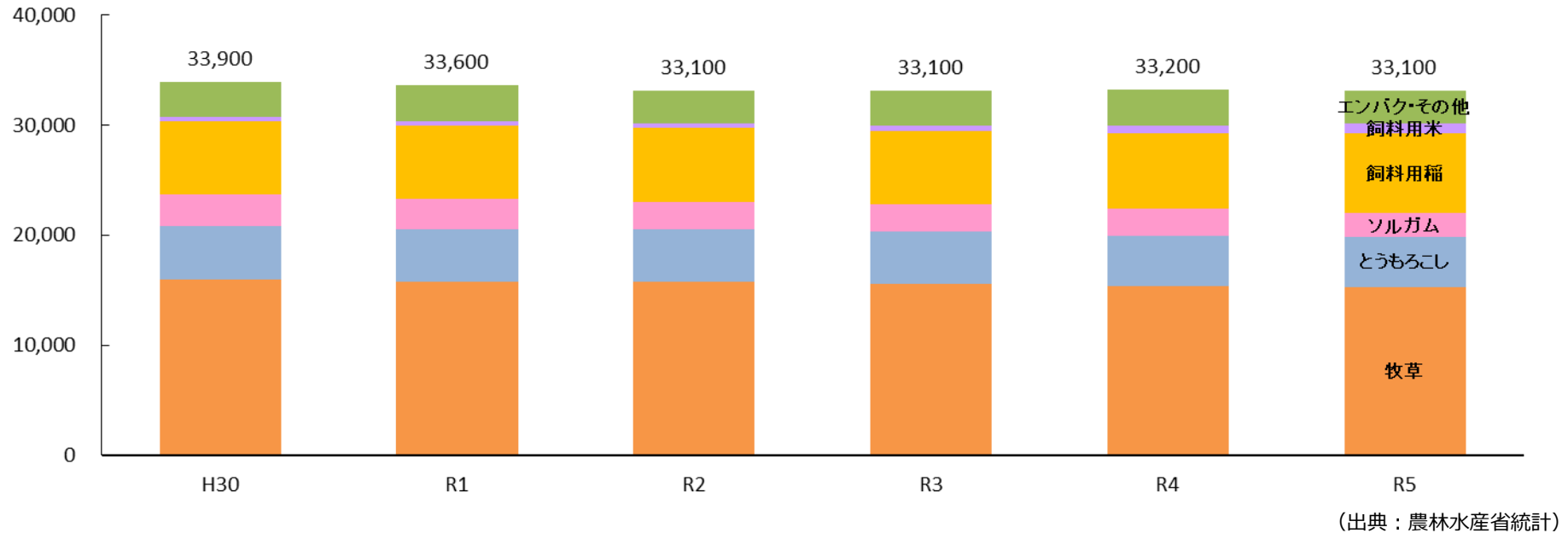
区 分	全 国	九 州	都 道 府 県 別 順 位					備 考	宮崎県/ 全国 シェア
			1	2	3	4	5		
肉 用 牛	2,672,000	978,200	北海道 558,500	鹿児島県 362,700	宮崎県 258,200	熊本県 134,000	長崎県 93,500		9.7%
乳 用 牛	1,313,000	97,800	北海道 821,500	栃木県 52,800	熊本県 43,800	岩手県 38,700	群馬県 31,900	宮崎県 13,000 (11位)	1.0%
豚	8,798,000	2,753,000	鹿児島県 1,200,000	北海道 752,200	宮崎県 721,900	群馬県 610,800	千葉県 580,700		8.2%
採 卵 鶏 (種 鶏 を 除 く)	168,599	21,601	千葉県 14,129	茨城県 12,109	鹿児島県 10,196	岡山県 10,036	広島県 9,208	宮崎県 3,098 (21位)	1.8%
ブロイラー	144,859	74,080	鹿児島県 32,003	宮崎県 28,155	岩手県 23,604	青森県 7,639	北海道 5,531		19.4%

農業産出額



本県畜産の概要（自給飼料）

飼料作付面積の推移



- 県内の飼料作付面積は、近年、飼料用稲・飼料用米が増加しているが、全体ではほぼ横ばいで推移。【R 5：33,100 ha】

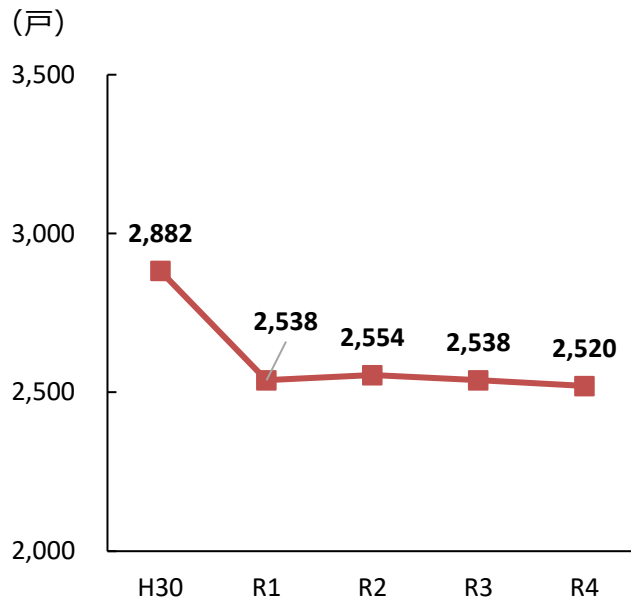
【内訳】

牧草：	15,300 ha
とうもろこし：	4,480 ha
ソルガム：	2,200 ha
飼料用稲：	7,207 ha (297ha増)
飼料用米：	887 ha (200ha増)
エンバク・その他：	3,026 ha

本県畜産の概要（コントラクター）

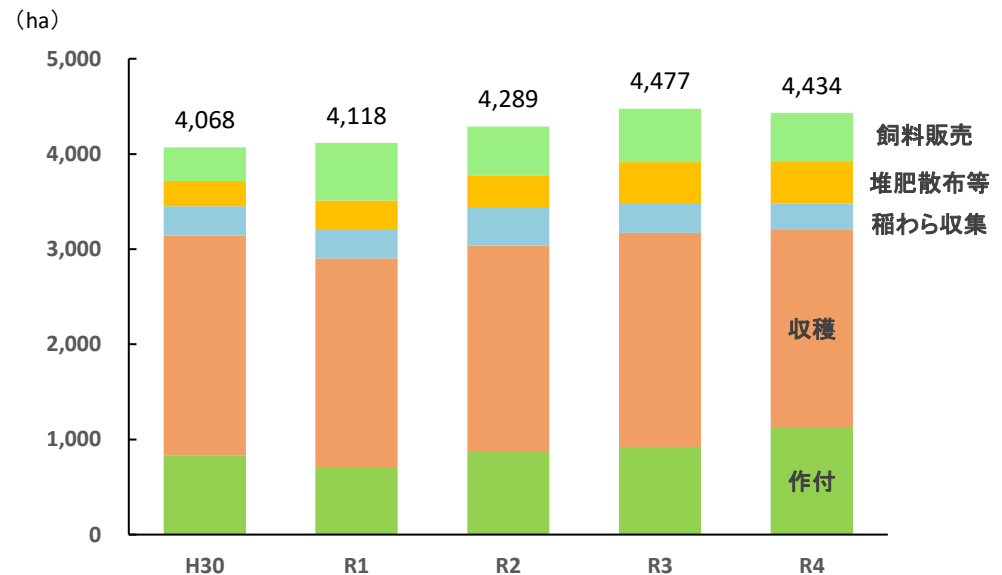
- コントラクター組織：47組織
- うち、生産から販売まで実施する組織：12組織 ※一部で広域流通の取組も見られる。
- 経営形態は半数以上が法人（農協含む）

コントラクター受託延べ戸数



(出典：宮崎県調べ)

コントラクター作業受託延べ面積



(出典：宮崎県調べ)

- 受託戸数は減少している一方で、作業受託面積は増加傾向にある。

【R4 受託戸数：2,520戸 受託面積：4,434 ha】

飼料作付：1,129 ha 飼料収穫：2,072 ha 稲わら収集：275 ha

堆肥散布：450 ha 飼料販売：508 ha

本県畜産の概要（家畜排せつ物）

家畜排せつ物量及び用途別処理量（R2）

1. 家畜排せつ物量: 4,022千t

乳用牛 199千t (4.9%)	肉用牛 1,824千t (45.4%)	豚 1,670千t (41.5%)	採卵鶏 50千t (1.2%)	ブロイラー 280千t (6.9%)
------------------------	---------------------------	-------------------------	-----------------------	--------------------------

2. 用途別処理量

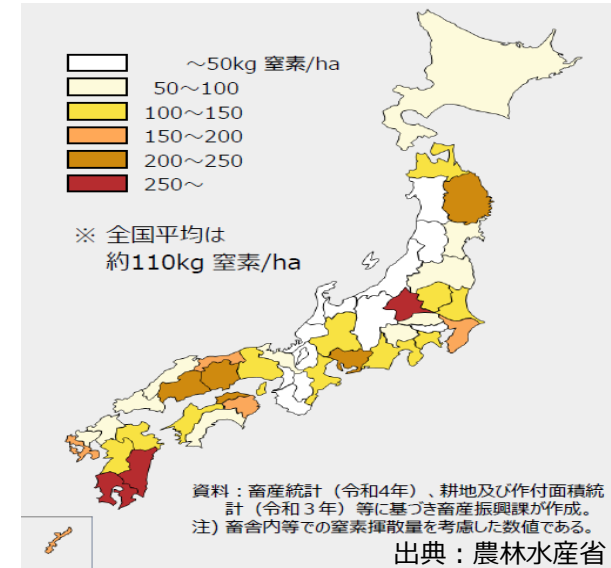
約80%			
堆肥化処理 2,699千t (67.1%)	液肥化処理 227千t (5.6%)	エネルギー利用 289千t (7.2%)	浄化処理 807千t (20.1%)

3. 農地等還元量: 1,441千t

堆肥利用 1,214千t	液肥利用 227千t
-----------------	---------------

（出典：宮崎県調べ）

耕地面積当たりの家畜排せつ物量（窒素ベース）



- 家畜排せつ物の発生量は、約402万トン/年と推計され、肉用牛が45%、豚が42%、養鶏が8%、乳用牛が5%となっている。
- 発生量の80%が堆肥やエネルギー等として再生利用され、残りの20%が浄化処理されている。

課題

- 飼料作付面積は、数年間でほぼ横ばい
- 県産稲わらの約43%が水田へのすき込み・焼却処分されており、飼料としての利用率が低い（R3:約46%）
- 飼料・肥料価格が高騰する中、コスト低減が急務

必要な取組

- **耕種農家の農地を活用した飼料生産の推進**
- 県産稲わらを収集する体制のさらなる強化のために必要な**人材の育成**
- **基幹コントラクター組織**の飼料生産能力向上
- まとまった優良農地が確保出来ない**中山間地域での粗飼料自給率の向上**

特に堆肥においては…

課題

- 近年の肥料価格高騰への対策として、堆肥を有効活用した化学肥料の低減
- 耕地面積に対して家畜排せつ物量が多い
- 畜産密集地帯が偏在しているため、需要と供給のアンバランスが一部見受けられる

必要な取組

- **堆肥の高品質化**（ペレット化・堆肥と化学肥料の混合など）の取組
- **堆肥利用マッチングの推進**
- 耕畜連携をはじめとする**地域内流通、県外への広域流通の推進**

地域連携による資源利用拡大推進事業（R5）

○ 事業目的

地域資源（飼料用米、稲わら、堆肥等）の利用拡大を目的とするコンソーシアムを中心とした、地域資源循環システムを構築し、国産飼料の生産拡大及び国内飼料自給率の向上を図る

○ 各地域でコンソーシアムが発足

7つの地域で耕種農家と畜産農家等が連携したコンソーシアムが発足
（都城市2、延岡市、小林市、西都市、えびの市、川南町）

事業活用

○ 地域資源活用に必要な稲わら等の収穫機械や保管倉庫等を8戸の農家等で整備 ＜事業効果（目標）＞

- ・ 飼料用米の作付面積**30.3ha増加**
- ・ 稲わら収集面積**22.9ha増加**
- ・ とうもろこし収集面積**10ha増加**
- ・ 堆肥散布量**13t増加**

今後の予定

優良事例を調査し、地域コンソーシアムの取組を県域に波及

地域連携による資源利用拡大推進事業（実績①）



日本の
ひなた
宮崎県

○ 地域コンソーシアムを整備し事業に取り組んだ事例



(1)三財飼料利用コンソーシアム（西都市）

【取組内容】

水稻農家が稲わら保管庫を改修し、品質の安定した稲わら供給体制を整備。



(2)尾鈴地域飼料用米普及促進協議会（川南町及び都農町）

【取組内容】

養豚農家が粉碎機を導入し、飼料用米の利用を拡大することで、地域として飼料用米の生産が拡大。



地域連携による資源利用拡大推進事業（実績②）



日本の
ひなた
宮崎県

飼料米

稲わら

堆肥

(3)下水流地域耕畜連携組合（都城市）

【取組内容】

農業生産法人が堆肥散布機を導入し、地域の堆肥散布を受託することで、堆肥散布量が増加。



稲わら

堆肥

(4)東霧島地区飼料生産組合（都城市）

【取組内容】

耕種農家が稲わら収集機械を導入し、地域で生産された飼料用米の稲わらを収集し畜産農家へ供給。



堆肥利用マッチング体制の整備

- ・ 堆肥供給者の情報を検索できるホームページを制作しており、令和6年度から運用開始。
- ・ 耕種側の求める堆肥が選択できるよう、堆肥原料の畜種や、荷姿などの条件を付けて検索が可能。

みやざきの堆肥検索ページ

堆肥の購入について
まず、散布方法を決めて下さい

堆肥を買って
自分で散布

堆肥を買って
散布まで
してほしい

決めて
ない

以下に該当された項目に、希望する項目のみチェックして検索！

堆肥の生産地で絞り込み

畜種で絞り込み

荷姿で絞り込み

散布対象場所

この条件で検索

みやざきの堆肥検索結果

※注）市町村別に表示

検索結果3件

宮崎市・国富町・綾町エリア

Aファーム

所在地：宮崎市
農産品：みやざき豚ふん堆肥
畜種：豚ふん
成分：【N】11.2 【P】2.1 【K】1.3
【D】3.4 【C/N】20.3

荷姿1：袋
販売価格1：500円
荷姿2：フレコン
販売価格2：5,000円

評価

Bファーム

所在地：綾町
農産品：綾町産堆肥
畜種：豚ふん
成分：【N】11.2 【P】2.1 【K】1.3
【D】3.4 【C/N】20.3

荷姿1：フレコン
販売価格1：500円

評価

Cファーム

所在地：国富町
農産品：国富町産堆肥
畜種：豚ふん
成分：【N】11.2 【P】2.1 【K】1.3
【D】3.4 【C/N】20.3

荷姿1：フレコン
販売価格1：5,000円
荷姿2：トラック
販売価格2：20,000円

評価

企業情報

Aファーム

【所在地】宮崎市・・・
【電話】0985-00-0000
【FAX】0985-11-1111
【Email】xyz@abc.jp
【URL】afarm.com

堆肥情報1

【商品名】みやざき豚ふん堆肥
【畜種】豚ふん
【成分】【N】11.2 【P】2.1 【K】1.3
【D】3.4 【C/N】20.3

【荷姿1】袋
【販売価格1】500円
【荷姿2】フレコン
【販売価格2】5,000円
【受注時期】～
【散布時期】1,000円/t
【散布可能時期】4月・5月・6月・7月
【備考・特記】畜糞は微生物を含む。

堆肥情報2

【商品名】みやざき豚ふん堆肥
【畜種】豚ふん
【成分】【N】11.2 【P】2.1 【K】1.3
【D】3.4 【C/N】20.3

【荷姿1】袋
【販売価格1】500円
【荷姿2】フレコン
【販売価格2】5,000円
【受注時期】～
【散布時期】1,000円/t
【散布可能時期】4月・5月・6月・7月
【備考・特記】畜糞は微生物を含む。

宮崎県内の堆肥を有効活用しましょう。

家畜ふん由来の堆肥の利用促進を図るとともに、地域の堆肥供給ネットワークの構築を目的として、
『みやざきの堆肥検索サイト』を
開設しました。

堆肥検索サイトには、こんな情報が掲載されています！

堆肥の
供給者

堆肥の
種類

堆肥の
成分

価格

散布の
可否

散布してくれる
業者もいます！

堆肥施用量自動計算ツール(アプリ)や堆肥供給者リストも公開していますので、ぜひご活用下さい！

欲しい堆肥があれば、直接「堆肥供給者」に
お問い合わせ下さい！
<https://miyazakitaihi.com>



〒880-8501 宮崎市橋通東2丁目10番1号
宮崎県 農政水産部 農業普及技術課 TEL：0985-26-7134
畜産課 TEL：0985-26-7138



『堆肥検索』ボタンをクリック！

LET'S SEARCH FOR MANURE IN THE LIST.

堆肥の供給者情報を、地域毎にまとめた『堆肥供給者リスト』を作成しました。

地域毎にまとめた堆肥一覧リストをご覧になりたい方は下記ボタンをクリック！



【2023年度版】

- ・「堆肥供給者リスト」
検索ででてくる堆肥供給者情報を
地域ごとにまとめた一覧

LET'S USE OUR ORIGINAL APP.

堆肥の施肥量を自動計算してみよう！



化学肥料の代わりに『堆肥を使いたいけど、散布量がわからない???』という方に、堆肥の施肥量が自動計算できるツールをご準備いたしました！

スマホでも簡単に自動計算できるので、是非使ってみて下さい！



堆肥施肥量計算カルテ >

- ・「堆肥の施肥量計算カルテ」
堆肥の施肥量が自動計算できる

G7宮崎農業大臣会合（R5.4.22～23 宮崎市）

- 世界的な課題である**食料安全保障の強化**に向け、G7各国の農業大臣が議論し、今後の農業・食料政策の方向性として、

（ア）**自国の生産資源を持続可能な形で活用**すること

（イ）農業の**生産性向上と持続可能性の両立**

（ウ）あらゆる形の**イノベーションにより、農業の持続可能性を向上**させること

について共通認識

- 本会合での議論を取りまとめた共同声明とともに、G7各国が取り組むべき行動を要約し、本県の名を冠した「**宮崎アクション**」を採択

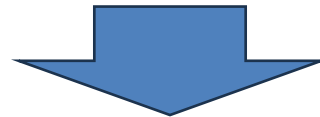


「宮崎アクション」

宮崎アクション（抜粋）

我々G7農業大臣は、より生産力が高く、強じて**持続可能な農業・食料システムを達成するために**、宮崎で議論した以下の点を踏まえ、国際社会の一員として積極的に取り組んでいく。

- 既存の**国内農業資源を持続的に活用**し、貿易を円滑化しつつ、地元・地域・世界の食料システムを強化する途を追求し、サプライチェーンを多様化する
- あらゆる形の**イノベーションの実施**や**持続可能な農業慣行の促進**により、農業・食料システムの持続可能性を向上させる
- 研究・開発を促進するとともに、地元のニーズや状況に応じた、更なるデジタル化を含む新規・既存の技術や慣行を拡大・普及させる



- 本県は、**G7農業大臣会合の開催地**、また**全国有数の食料供給基地**として、**「宮崎アクション」の具現化**に率先して取り組む必要

3つの日本一挑戦プロジェクト

本県の強みを生かし、更なる成長につなげる
3つの日本一挑戦プロジェクト

子ども・若者プロジェクト

【目指す姿】

日本一生み育てやすい県への挑戦！
～県・市町村一丸となって、
子ども・若者政策の好循環を創出し、
人口減少を抑制～

【取組の柱と方向性】

- 1 出逢い・結婚の希望を叶える**
⇒出逢い・結婚支援の充実・強化
- 2 子どもがほしい人の希望を叶える**
⇒第2子以降の希望を後押しする
施策等の展開
- 3 安心して子育てできる教育環境を
つくる**
⇒様々な環境の子どもを支え、夢や
希望を後押しする教育環境の整備

【主な指標（R8目標）】

- ◎合計特殊出生率
1.63（全国2位）⇒1.8台（全国1位）
- ◎婚姻数
3,805組⇒4,500組以上



グリーン成長プロジェクト

【目指す姿】

再造林率日本一への挑戦！
～ゼロカーボン社会と
地域資源を活用した産業成長の実現～

【取組の柱と方向性】

- 1 循環型林業の推進**
⇒産学官・県民が一丸となった
再造林に係る“宮崎モデル”の構築
- 2 循環型農水産業の推進**
⇒地域資源を最大限活用する
宮崎らしい取組の構築
- 3 脱炭素化による成長の実現**
⇒各産業部門の脱炭素経営の推進

【主な指標（R8目標）】

- ◎再造林率
73%（全国3位※）⇒90%以上（全国1位）
（※素材生産50万㎡以上の林業県/H30-R2平均）
- ◎粗飼料（※）自給率
88%⇒100%
（※牧草など牛のエサ）



スポーツ観光プロジェクト

【目指す姿】

スポーツ環境日本一への挑戦！
～スポーツ環境の充実により、
地域経済の活性化、観光振興などの
好循環を創出～

【取組の柱と方向性】

- 1 世界レベルのキャンプ・大会の
戦略的な誘致**
⇒競技別部会、ワンストップ窓口等
による誘致・受入体制の強化
- 2 戦略的・計画的なハード整備**
⇒スポーツ施設整備計画による施設
の高質化
- 3 県内全域のスポーツ環境の充実
（全県化・通年化・多種目化）**
⇒県・市町村のネットワーク強化

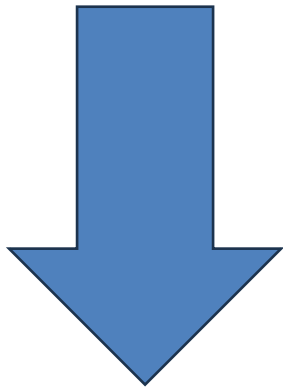
【主な指標（R8目標）】

- ◎ﾌﾞﾛｰﾄﾞﾁｰﾑｷｬﾝﾌﾟ数（野球・サッカー・ラグビー）
32チーム（全国2位）⇒43チーム以上（全国1位）
- ◎春季キャンプ・合宿の経済効果
118億円⇒150億円



（R5）

地域連携による資源利用拡大推進事業



より取組を加速化させる必要がある

（R6～）

**粗飼料自給率100%「宮崎アクション」
実践事業**

新 粗飼料自給率100%「宮崎アクション」実践事業

畜産振興課 57,560千円

【財源：国庫、日本一挑戦基金、一般財源】

事業の目的

G7宮崎農業大臣会合で採択された「宮崎アクション」等を踏まえ、粗飼料自給率100%に向けた取組を加速化し、国際情勢の影響を受けにくい持続可能な畜産経営への転換を図る。

事業の概要

(1) 事業内容

- ① 粗飼料生産・利用加速化事業（補助率定額、1／3以内）
 - ・地域コンソーシアム等の機能強化のためのコンサルタント支援
 - ・粗飼料等の生産・利用拡大のための機械・施設整備支援
 - ・堆肥マッチングサイト整備・普及啓発研修会開催
- ② 飼料生産組織人材確保事業
 - ・飼料生産組織におけるオペレーター人材ニーズ調査
- ③ 中山間地域放牧推進事業（補助率定額、1／3以内）
 - ・放牧推進に向けた簡易造成等・普及啓発研修会開催支援

(2) 事業の仕組み

- ① 県、県  地域協議会等
- ② 県  県コントラクター等協議会
- ③ 県  法人、営農集団等

(3) 成果指標

粗飼料自給率 現状（令和3年）88.0% → 令和8年 100%

飼料生産に必要な施設・機械を支援



飼料保管庫の整備



飼料生産機械の導入

放牧推進に向けた支援



放牧地の整備



普及啓発研修会

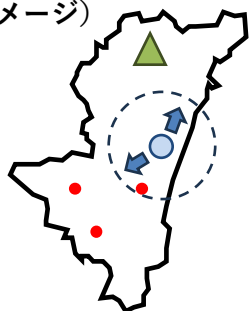
事業の期間

令和6年度～令和8年度

【別紙】 新 粗飼料自給率100%「宮崎アクション」実践事業

地域毎に発足したコンソーシアム等

現状（イメージ）



事業効果

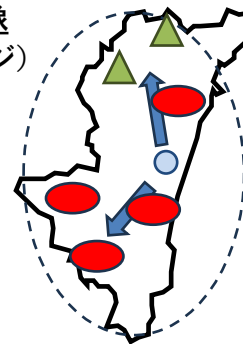
地域コンソーシアム※1の面的拡大

基幹コントラクター※2の地域を越えたエリアの拡大

中山間地域での放牧の拡大

地域を越えた飼料生産・供給体制が確立

将来像
（イメージ）



▲ 放牧
● 地域コンソーシアム
● 基幹コントラクター組織 (○ 受託可能範囲)

※ 1 畜産・耕種農家等を構成員とする地域資源の円滑な利用を目指す組織
※ 2 地域外も活動範囲とする受託組織

①粗飼料※3生産・利用加速化事業

ア. コンサルタントによる地域コンソーシアム等の機能強化

イ. 機械・施設整備により粗飼料等の生産・利用拡大を支援



ウ. 自給率向上に資する堆肥マッチングサイト整備・普及啓発研修等

②飼料生産組織人材確保事業



繁忙期における異業種からのコントラクターのオペレーター人材確保によるエリア拡大

③中山間地域放牧推進事業



中山間地域における自給飼料確保に向けた条件整備・研修会の開催

粗飼料自給率100%達成

※ 3 牧草、稲わら等の牛のエサ

○補助事業内容

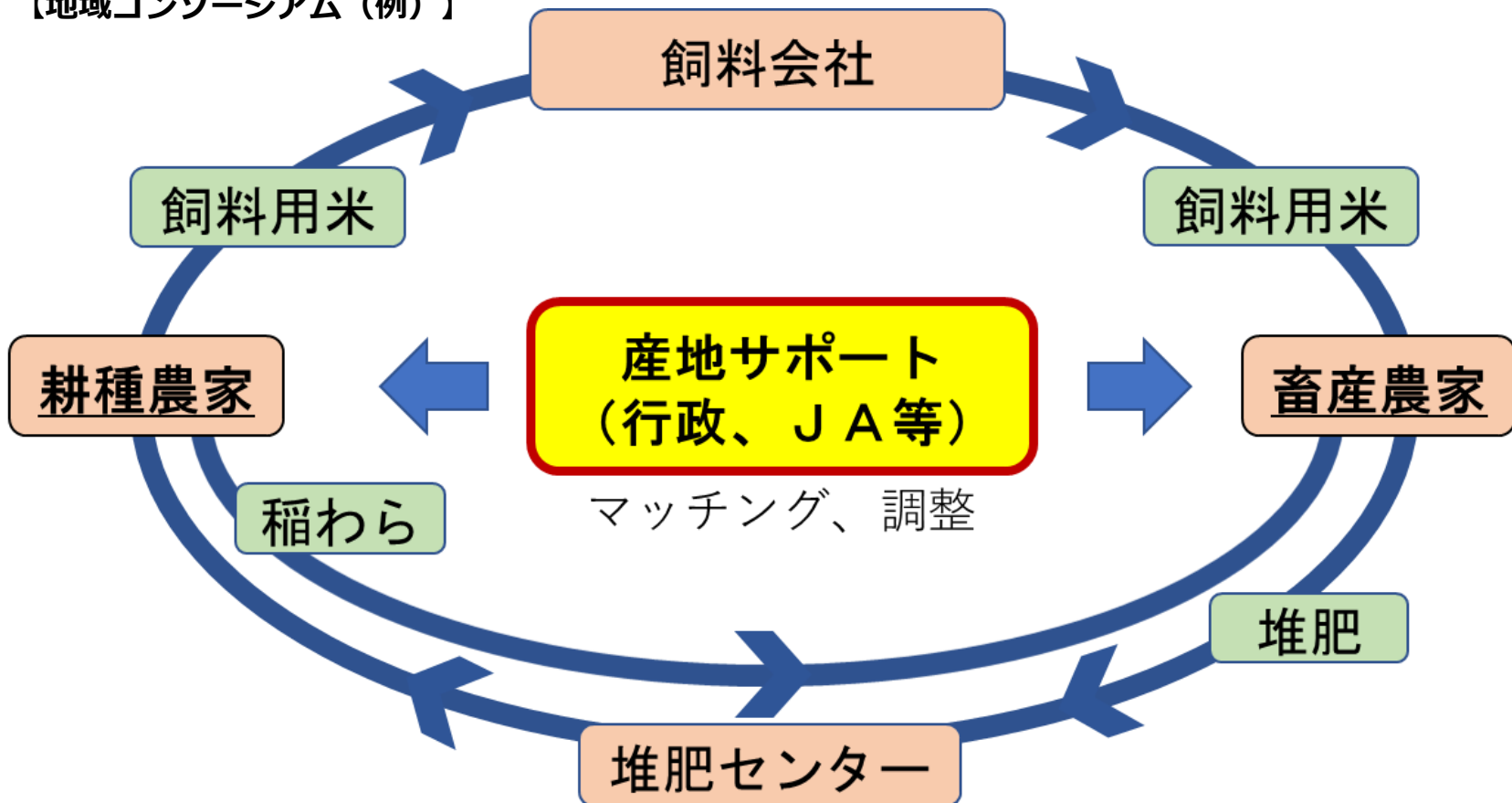
区分	補助対象経費	補助率等	補助事業者
1 粗飼料生産・利用 加速化事業	(1) 地域コンソーシアムの 機能強化に必要なコンサル タントに要する経費	定額 (補助上限額55万 円)	地域コンソーシアム その他知事が特別に認める 団体
	(2) 粗飼料等の生産・利用 拡大のための機械・施設整 備に必要な経費 (補助対象機械・施設につ いては、別表2のとおり)	1 / 3 以内	地域コンソーシアム
2 中山間地域放牧 推進事業	(1) 研修会開催に係る経費	定額	農業協同組合 認定農業者 農業法人 営農集団 集落営農組織 農地所有適格法人 その他知事が特別に認める 団体
	(2) 放牧地の簡易整備のため に必要な機械のリースに 要する経費	1 / 3 以内	
	(3) 放牧用資材導入に必要な 経費	1 / 3 以内	

※参考

地域コンソーシアムとは

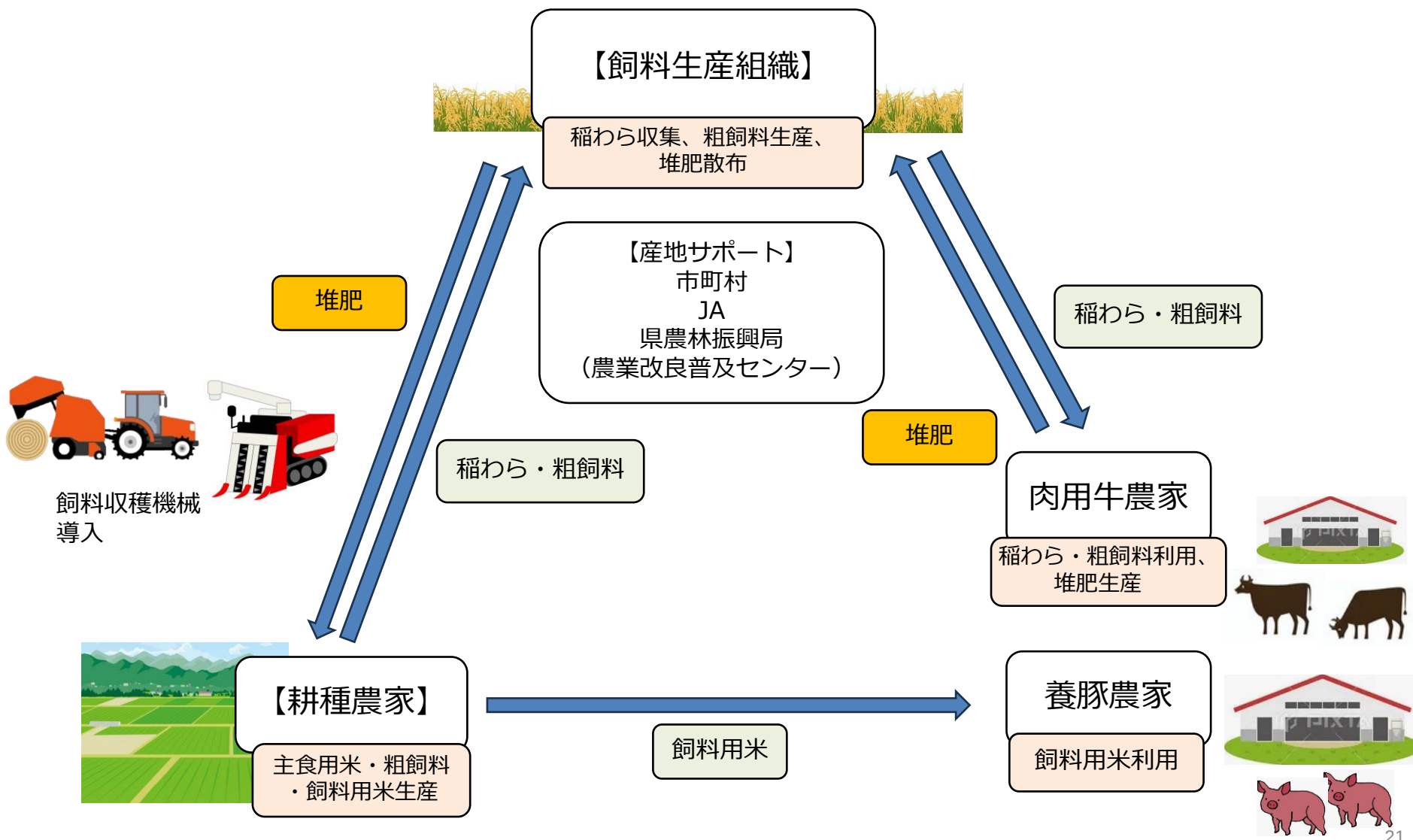
飼料用米、稲わら、堆肥等の未利用資源を利用拡大するため、畜産と耕種が連携し構築した共同体。

【地域コンソーシアム（例）】



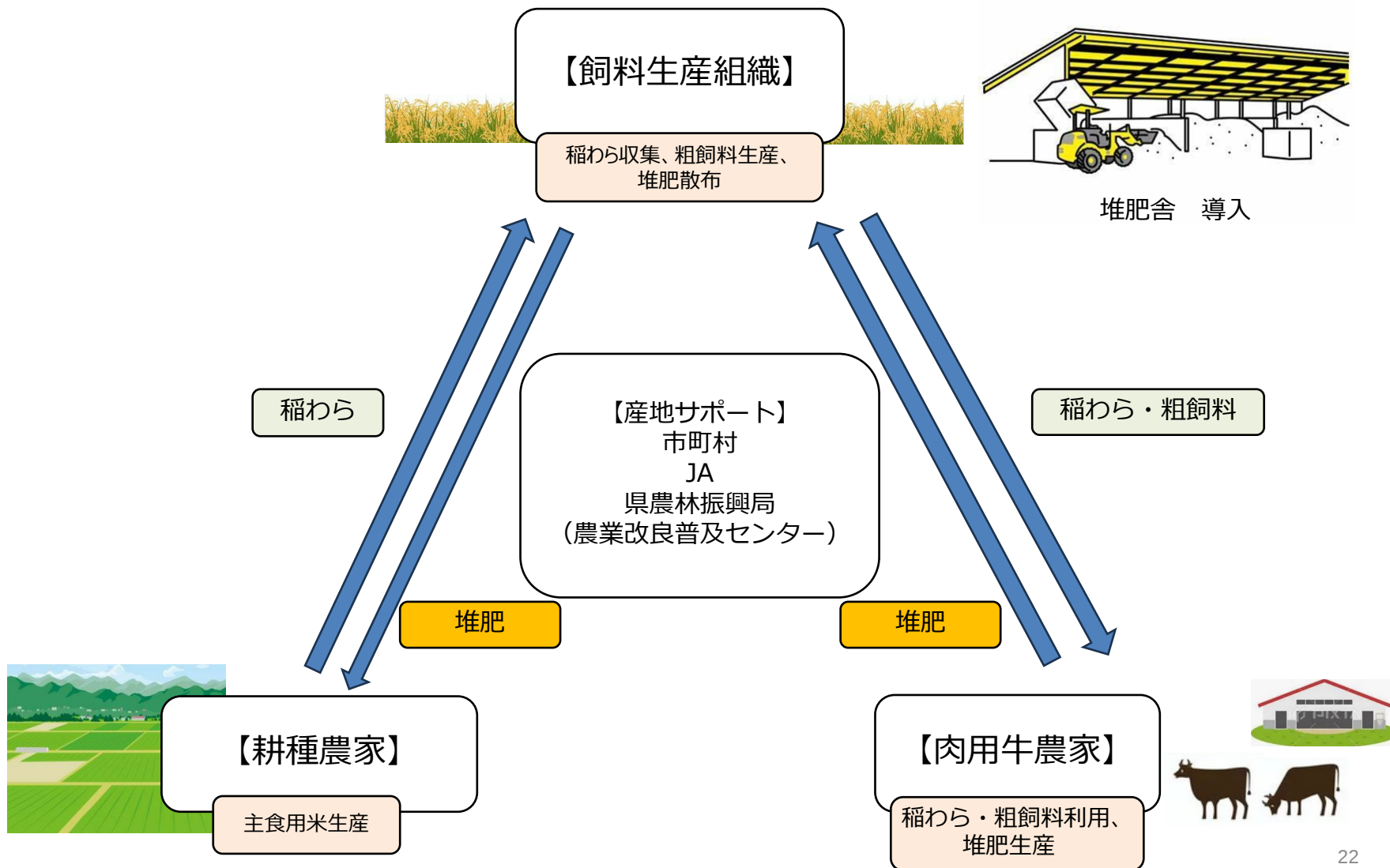
○コンソーシアム取組例①

飼料収穫機械の導入を行い、堆肥を活用し、稲わら収集面積・粗飼料作付面積を拡大させ、堆肥散布農家戸数の増加に取り組む。



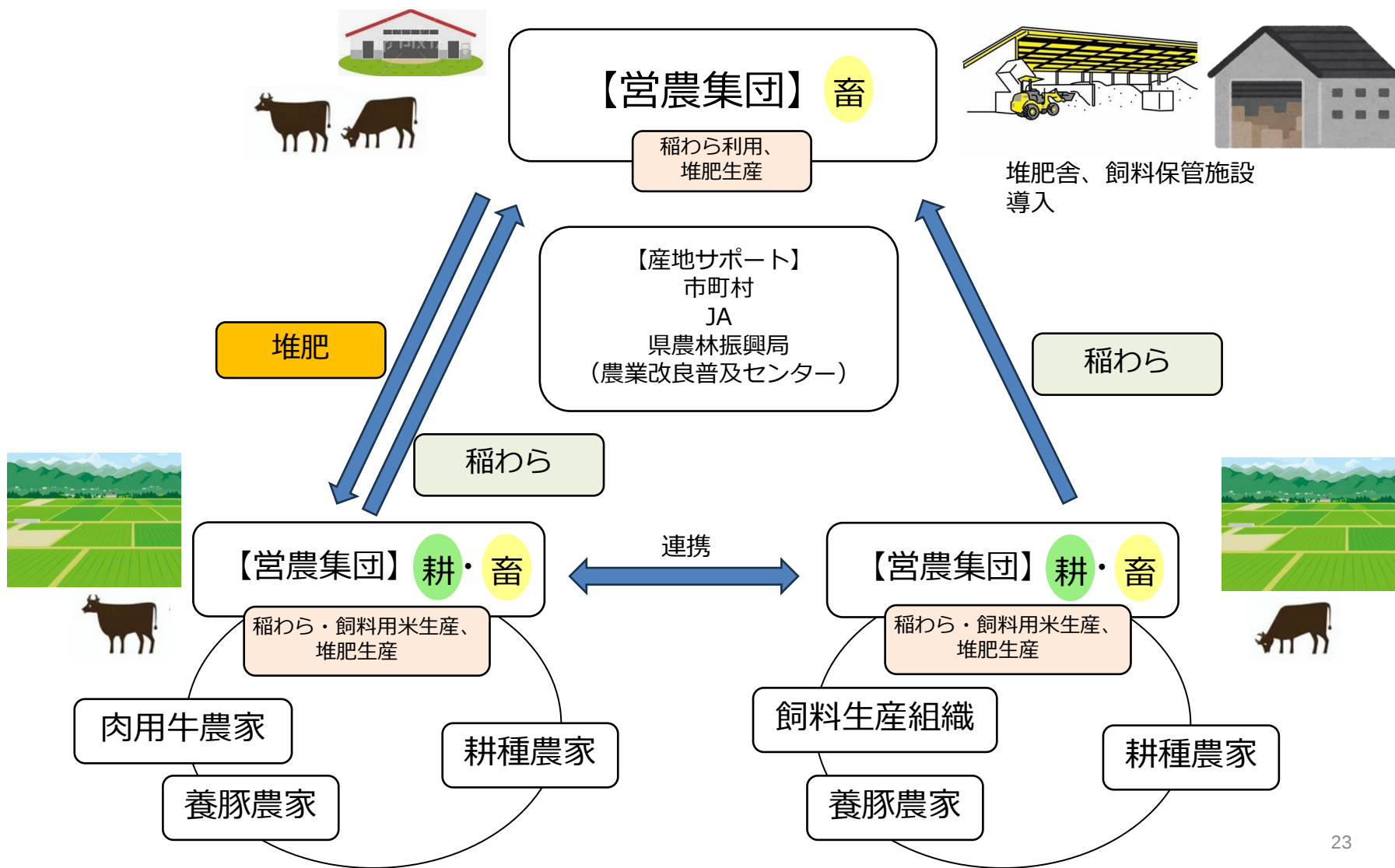
○コンソーシアム取組例②

堆肥舎の整備を行い、稲わら収集・粗飼料作付面積の拡大、堆肥散布農家戸数の増加に取り組む。



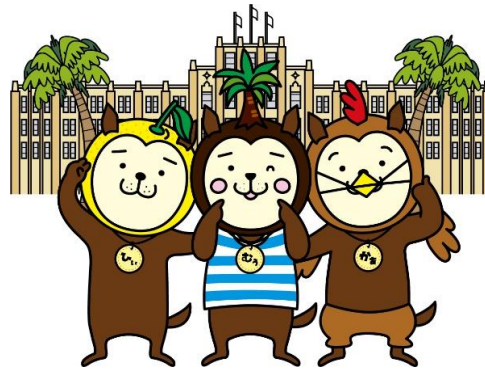
○コンソーシアム取組例③

堆肥舎や飼料施設の整備を行い、堆肥散布面積、稲わら収集・粗飼料作付面積の拡大に取り組む。



- 粗飼料自給率100%に向け、地域コンソーシアムの取組を面的に拡大するとともに、地域内の堆肥資源を活用することで、国際情勢の影響を受けにくい持続可能な畜産経営への転換を図る。

ご清聴ありがとうございました。



宮崎県シンボルキャラクター「みやざき犬」